

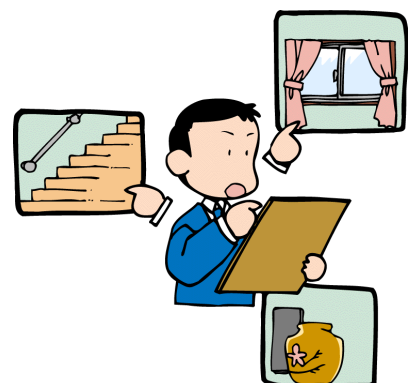
■正誤問題 (過去に出題された選択肢) 25 問

積算に関する問題です。○×で回答して下さい。

答えが×になった場合は、どこが間違っているのかも考えてみましょう。

1. 鉄筋コンクリート壁の型枠の数量は、1 か所当たりの内法面積が 0.5m^2 以下の開口部の型枠の欠除については、ないものとして算出した。
2. 仮囲いの数量は、種別、高さ等により区別し、仮囲いの外周面の長さにより算出した。
3. 土工事における土砂量は、地山数量とし、掘削による増加や締固めによる減少は考慮しないで算出した。
4. 複雑な形状の鋼板の数量は、その面積に近似する長方形として算出した。
5. 遣り方の数量は、建築物の延べ面積(延床面積)により算出した。
6. 共通費は、共通仮設費と現場管理費とを合わせた費用であり、一般管理費は含まれない。
7. 直接工事費は、建築物を建設するために直接必要な費用で、直接仮設及び直接工事に伴う下請経費等を含んだ費用である。
8. 計画数量は、設計図書に示されていない施工計画等に基づいた数量である。
9. 所要数量は、定尺寸法による切り無駄及び施工上やむを得ない損耗を含んだ数量である。
10. 設計数量は、設計図書に示されている個数や設計寸法から求めた正味の数量である。
11. 鉄骨の溶接数量は、溶接部の種類、断面形状ごとに長さを求め、すみ肉溶接脚長 6mm に換算した延べ長さにより算出した。
12. 造作材としての木材の所要数量は、図面に記入されている仕上寸法どおりに算出した。
13. 根切り土量は、施工上必要な余裕や法勾配を見込んだ寸法により算出した。
14. コンクリート型枠の数量は、型枠の種類・材料・工法、コンクリートの打設面等により区別し、面積を算出した。
15. 土工事における土砂量は、掘削による増加や盛土の締固めによる減少を考慮しない地山数量により算出した。
16. 工事原価は、直接工事費と共通仮設費とを合わせたものである。

17. 工事費は、工事価格に消費税等相当額を加えたものである。
18. 複合単価は、材料費と労務費を加えたものなど、2種類以上の費用を合わせたものの単価である。
19. 共通費は、共通仮設費、一般管理費等及び現場管理費とを合わせたものである。
20. 共通仮設費は、現場事務所の設置、動力・用水・光熱等に要する費用である。
21. 鉄筋コンクリート壁の型枠の数量は、30cm 角の換気扇用開口部の欠除はないものとして算出した。
22. 型枠の数量は、各部材の接続部の面積が 1.0 m²を超える場合、型枠不要部分としてその面積を差し引いて算出した。
23. 建具の塗装面積の数量は、適切な統計値を利用して算出した。
24. 鉄筋コンクリート造のコンクリートの数量は、鉄筋及び小口径管類によるコンクリートの欠除はないものとみなして算出した。
25. 鉄筋の所要数量は、鉄筋の設計数量の 4%増とした。



■正誤問題 解答編

1. 鉄筋コンクリート壁の型枠の数量は、1 か所当たりの内法面積が 0.5m^2 以下の開口部の型枠の欠除については、ないものとして算出した。
1. ○
2. 仮囲いの数量は、種別、高さ等により区別し、仮囲いの外周面の長さにより算出した。
2. ○
3. 土工事における土砂量は、地山数量とし、掘削による増加や締固めによる減少は考慮しないで算出した。
3. ○
4. 複雑な形状の鋼板の数量は、その面積に近似する長方形として算出した。
4. ○
5. 遣り方の数量は、建築物の延べ面積(延床面積)により算出した。
5. × 遣り方の数量は延床面積ではなく**建築面積**により算出します。
6. 共通費は、共通仮設費と現場管理費とを合わせた費用であり、一般管理費は含まれない。
6. × 共通費は、共通仮設費と諸経費(現場管理費と一般管理費等)を合わせたものです。したがって、一般管理費は共通費に含まれる。
7. 直接工事費は、建築物を建設するために直接必要な費用で、直接仮設及び直接工事に伴う下請経費等を含んだ費用である。
7. ○
8. 計画数量は、設計図書に示されていない施工計画等に基づいた数量である。
8. ○
9. 所要数量は、定尺寸法による切り無駄及び施工上やむを得ない損耗を含んだ数量である。
9. ○
10. 設計数量は、設計図書に示されている個数や設計寸法から求めた正味の数量である。
10. ○
11. 鉄骨の溶接数量は、溶接部の種類、断面形状ごとに長さを求め、すみ肉溶接脚長 6mm に換算した延べ長さにより算出した。
11. ○

12. 造作材としての木材の所要数量は、図面に記入されている仕上寸法どおりに算出した。
12. × **造作材としての木材の所要数量は、大工さんが表面を削ったり、端部を接合の為に加工したりしますので、少し大きめに算出します。**
13. 根切り土量は、施工上必要な余裕や法勾配を見込んだ寸法により算出した。
13. ○
14. コンクリート型枠の数量は、型枠の種類・材料・工法、コンクリートの打設面等により区別し、面積を算出した。
14. ○
15. 土工事における土砂量は、掘削による増加や盛土の締固めによる減少を考慮しない地山数量により算出した。
15. ○
16. 工事原価は、直接工事費と共通仮設費とを合わせたものである。
16. × **直接工事費と共通仮設費を合わせたものは純工事費であり、純工事費に現場管理費を合わせたものが工事原価となります。**
17. 工事費は、工事価格に消費税等相当額を加えたものである。
17. ○
18. 複合単価は、材料費と労務費を加えたものなど、2種類以上の費用を合わせたものの単価である。
18. ○
19. 共通費は、共通仮設費、一般管理費等及び現場管理費とを合わせたものである。
19. ○
20. 共通仮設費は、現場事務所の設置、動力・用水・光熱等に要する費用である。
20. ○
21. 鉄筋コンクリート壁の型枠の数量は、30cm角の換気扇用開口部の欠除はないものとして算出した。
21. ○ **型枠の数量の積算では、1箇所当たり内法面積0.5m²以下の開口部による型枠の欠除は、原則として、ないものとみなします。**
22. 型枠の数量は、各部材の接続部の面積が1.0m²を超える場合、型枠不要部分としてその面積を差し引いて算出した。
22. ○

23. 建具の塗装面積の数量は、適切な統計値を利用して算出した。

23. ○

24. 鉄筋コンクリート造のコンクリートの数量は、鉄筋及び小口径管類によるコンクリートの欠除はないものとみなして算出した。

24. ○

25. 鉄筋の所要数量は、鉄筋の設計数量の4%増とした。

25. ○

数字をみると

眠くなっちゃうぞぞぞ

